

< 特集 教育会研修旬間 >

より深め、より開き、より据える ~前へ 新たな未来に繋げて~
会員と地域の方々と学び合った 夏の研修旬間

今年度は、26の研修講座が開かれ、延べ人数にして500名を超える参加がありました。各講座の成果等をご報告いたします。

なお、各講座の詳細につきましては、諏訪教育会HP (<http://www.suwa-k.or.jp>) をご覧ください。

主催・共催 日時・場所	実施内容	成果と反省・参加者の声
教育博物館委員会 7月15日(土) 下諏訪町八 島ヶ原湿原 〔参加者 45名〕	霧ヶ峰自然観察会 ・霧ヶ峰の植物や鳥の観察 ・高層湿地について ・霧ヶ峰の地形や気象 ・旧御射山遺跡 ・講師:自然調査研究部の先生方とそのOBの先生方 郷土調査部の先生方	天候が心配されたため一周しなかったが、この折り返しルートも小さいお子さんにとっては負担が少なく良い。 【参加者の声】 ・湿原の成り立ちがとても分かりやすく、火山の話も興味が湧いた。 ・黒曜石の実験が面白かった。子ども達は実物をとても興味をもって見ていた。
生活科委員会 7月27日(木) 岡谷蚕糸博物館 〔参加者 10名〕	夏期実地研修会 ・館内見学 ・体験:繭を使ったコサージュ作り	学芸員の方々が、「この学年では、このような学習に発展できる」というように、学年に応じた具体的な提案をしながら説明してくださったので、より見通しがもてる機会となりありがたかった。 【参加者の声】 ・実際に本物の蚕を見ながら、多くの学校がどのような過程で飼育し、命の学習を経て、工作、見学、地域学習へ繋がっていくか知ることができ、見通しをもつことができた。
体育・保健体育 委員会 7月27日(木) 岡谷西部中学校 〔参加者 8名〕	夏期研修会 ・「体育・保健体育」の授業についての情報交換 ・水泳の指導方法についての情報交換 ・実技による教材研究 ・卓球バレーの体験	今回の内容の研修会は初めてで参加人数は少なかったが、「体育・保健体育」の授業について語り合う機会になった。情報交換の機会はなかなかないので、夏休みという時間的に余裕のある期間にできたことは今後につなげていく。 【参加者の声】 ・「卓球バレー」を初めて体験し、とても楽しかった。体育の授業はもちろんだが、学級活動で児童生徒に紹介したい。ぜひ、用具一式を借りたい。
教養委員会 7月28日(金) 諏訪教育会館 〔参加者 13名〕	「紙工作講座」 ・「紙工作」講座 ・ペーパークラフト、切り紙、立体的なカードやモビールを制作 ・道具の使い方や折り目の付け方 ・講師:元富士見高原中学校長 鈴木清先生	昨年度に比べると参加者がやや少ない印象であったが、その分参加者一人ひとりが講師の先生によるアドバイスを受けやすかった。 【参加者の声】 ・切り絵の新しい用紙も知ることができました。とてもやりやすく、この時間で切ることができました。毎回新しい切り絵が紹介されていて、それも楽しみです。夏休みの良い自由研究です。楽しい時間でした。

<p>諏訪哲学会 7月29日(土) 諏訪 法華寺 〔参加者 7名〕</p>	<p>夏季参禅研修会 ・坐禅研修</p>  <p>・哲学書読み 合わせ 鈴木大拙著 「日本的靈性」</p>	<p>教職員ばかりではなく、一般会員の方の参加が得られてよかった。但し、一般会員の方については、土曜日が仕事であったりして参加できない人もいたので日程を考えていきたい。</p> <p>《参加者の声》 ・静かで、自然豊かな環境にある法華寺で研修会を行ったことは、日常の喧噪から離れて、哲学書に集中して向かうことのできるよい機会となった。</p>
<p>諏訪子どもの本研究会 7月29日(土) イルフ童画館 〔参加者3名〕</p>	<p>夏期研修会 企画展見学 ・イルフ童画館 企画展「かがくいひろしの世界展」(没後初の大回顧展)見学 ・絵本作家「かがくいひろし」の絵本原画や制作資料、構想ノートに記された制作の軌跡などから、作家が作品に込めた思いを知る。 ・特別支援学校教員時代のノート、自作教材等から、その人柄や子ども観、世界観などを知る。</p> 	<p>作者の思いに触れ、原画の奥深さを味わう機会を持つことができよかった。子どもたちに人気の作家なので、参加した小さいお子さんも一緒に楽しむことができていた。</p> <p>《参加者の声》 ・「もくもくやかん」の構想ノートには、最初に思いついたアイデアから、ヤカンを手に入水求めて砂漠を歩くアフガン難民の幼い男の子の報道写真を見たことをきっかけに、「水不足の人を助けたい、力になりたい」という思いを強くして、絵本の内容が変化していく様子が残されていた。作品が生まれる過程を知ると、その絵本の見方も変わり、子どもたちへの紹介の仕方や、添える言葉も変わると感じた。</p>
<p>情報教育委員会 7月29日(土) 中洲小学校 〔参加者20名〕</p>	<p>「夢のゲーム機を作ろう ワークショップ」 ・「『売れるゲーム機』をつくるには」という内容での講演いただき、参加者4人で一つのチームを作り、協議協力しながら自分たちの考える「売れるゲーム機」を考案するワークショップを実施 ・講師：一般社団法人 「たよなん」梅木 翼 先生</p> 	<p>20名という限定的な講座であったが、各班へのサポートやそれぞれで試作品を作る材料や場を考えると適当であった。</p> <p>《参加者の声(保護者アンケートから)》 ・「自分はアイデアが浮かばなかったけど、同じチームの皆と相談しながら協力できて楽しかった」と子どもの感想です。保護者は終盤から見学させて頂きましたが、チームで話し合ったり前で発表したりする経験は貴重な機会になりました。講師の方や進行・サポートの先生方も、子ども達の取組やアイデアの良いところを認めて褒めて楽しい雰囲気を進めていたのが印象的でした。ありがとうございました。</p>
<p>図工美術委員会 7月29日(土) 諏訪教育会館 〔参加者68名〕</p>	<p>親子造形遊びワークショップ 「スポンジ ふわふわ」 ・児童を対象にした造形遊びワークショップ ・保護者の方への「材料をもとにした造形遊び」への周知と理解 ・教職員の造形遊びの研修</p> 	<p>活動前に事前に児童向け、保護者向けに活動の趣旨を話してから活動を始めた。保護者向けに今回の趣旨、参加するにあたっての立ち位置等を話すことで、保護者の児童の活動の手伝いや助言が少なく、一緒に活動ができ、その活動をみて子どもたちも刺激を受け、活動の幅が広がったと思われる。「造形遊び」の活動がこういう機会に少しでも理解してもらうことができよかった。</p> <p>《参加者の声》 ・たくさんのスポンジがあったので、大きい作品をつくれてうれしかったです。立体的な物を作るのがむずかしかったけど、完成できたのでよかったです。またやりたいです。</p>
<p>諏訪美術教育研究会 7月30日(日) 諏訪教育会館 〔参加者43名〕</p>	<p>「すわび こどもミュージアムDAY」 諏訪市美術館、諏訪市博物館、原田泰治美術館、八ヶ岳美術館、茅野市美術館にご協力頂き、それぞれの美術館、博物館ならではのワークショップを行って、諏訪地域の小学</p>	<p>希望者の多さに、参加される方の関心の高さを感じた。お断りした方が非常に多かったため、すべての申し込んで下さった方に、少しでも美術に触れる機会が広がるよう、対応を検討していく。</p>

	<p>生や保護者につくる楽しさを味わったり、地域の美術館や博物館について知ってもらったりした。</p> <p>・講師：5つの美術館、博物館から合計13名</p>	<p>《参加者の声》</p> <p>・普段、家で工作をすることがないので、フェルトや拓本など貴重な体験ができた。博物館のスタッフの皆さんが子どもに分かりやすく教えてくれて、ものをつくる楽しさを感じられた。これを機に様々な美術館等、めぐってみたいと思った。</p>
<p>登山の菜委員会 7月31日(月) 八ヶ岳 硫黄岳 〔参加者19名〕</p> 	<p>登山講習会</p> <p>・初任者、諏訪へ初めて来た先生方、登山の経験がなく次年度登山学年になる先生方などを対象として登山研修会を実施し、登山の菜「八ヶ岳」を紹介しながら、八ヶ岳や登山の魅力を発信した。</p>	<p>4年ぶりに登山研修会を開催でき、多くの先生方に参加していただいた。今回は郡内だけでなく、長野県山岳総合センター所長の傘木靖先生をはじめ、郡外の先生方にもご参加いただき、諏訪教育会の取り組みを広く発信する機会にもなった。</p> <p>《参加者の声》</p> <p>・自分は県外の出身で、八ヶ岳の麓の学校に勤務していた時から、いつか八ヶ岳に登りたいと考えていました。個人で登ることに不安があったので、今回研修会に参加して、念願だった八ヶ岳に登ることができて本当によかったです。</p>
<p>福祉教育委員会 7月31日(月) 9:30～11:30 いきいき元気館 〔参加者30名〕</p> 	<p>福祉教育夏期研修会</p> <p>・諏訪社会福祉協議会との共催 ・講演：良い姿勢と理想的な身体の使い方 ・実技：運動機能を高める体操 ・講師：百瀬 能成先生 百瀬整形外科スポーツクリニック医師 松本山雅FCチームドクター 東 良道 先生 一般社団法人MOSCメディカルフィットネス スアルクラー健康運動指導士</p>	<p>今年度も、諏訪社会福祉協議会と連携して諏訪郡内の全学校職員を対象とした研修会として実施することができた。新型コロナウイルスについては、最低限の感染予防をしながら実施でき、久しぶりに身体を動かす実技指導も行うことができてよかった。</p> <p>《参加者の声》</p> <p>理論と実践の両方がよかった。最新の内容を今活躍されている方から指導していただき、とてもよかった。</p>
<p>健康教育委員会 7月31日(月) 10:00～12:00 13:30～16:00 諏訪教育会館 〔参加者 午前16名 午後7名〕</p> 	<p>夏期研修会</p> <p>・午前の部：先輩から保健室経営について学ぶ、保健指導や検診時の配慮等日常執務の情報交換 ・午後の部：自殺予防プログラムGRIP、さいたま市のSOSの出し方教育について学ぶ ・講師： 清水明子先生(元金沢小学校養護教諭) 福田菜津子先生(長野県総合教育センター専門主事)</p>	<p>先輩の養護教諭がどのように日々の仕事に取り組んでいたのか、健康教育の進め方や児童・生徒委員会の工夫等の話を伺うことができ、2学期からすぐに取り組めるパワーをいただくことができた。</p> <p>《参加者の声》</p> <p>・総合教育センターの研修で行っているロールプレイの実際を伺うことができ、職員研修に活かせそうだと感じました。</p>
<p>諏訪書道研究会 8月1日(火) 9:30～15:00 諏訪教育会館 〔参加者9名〕</p> 	<p>夏期研修会</p> <p>・3年生への指導方法 ・初心者から上級まで、段階に応じたの研修 ・楷書、行書、草書、かなの練習 ・子どもの作品研究 ・のし袋等への名前の書き方等 ・講師：平林 圭治先生 (元茅野美術館館長 元永明小学校長)</p>	<p>参加者がやや少なかった。通知を早めに出したり、都合のよい時間での参加を呼びかけたりしていたのだが、今後は、それに加えて初任者への呼びかけも検討していきたい。</p> <p>《参加者の声》</p> <p>・とても親切に教えていただき、技術の向上に繋がりました。講師の平林先生には、丁寧にポイントを絞って教えていただきありがとうございました。</p>

<p>諏訪道徳教育学会 8月1日(火) 諏訪教育会館 〔参加者 11名〕</p> 	<p>夏期研修会 ・道徳の授業づくり ・講演「子どもと共に歩む道徳の学習～教科道徳の困りごとお答えします～」 ・講師：丸山和夫先生 (元長野県道徳教育学会会長)</p>	<p>参加人数は昨年度と変わらなかったが、若い先生方の参加が多かったことから、2学期の実践ですぐに使えると感想をいただいたことは嬉しい。 《参加者の声》 ・「自身の弱さを価値に揺り戻す」というグループ内での話が印象的でした。価値の良さを考え深めていける、そんな授業を目指したいと思いました。</p>
<p>諏訪総合・生活科教育研究会 8月2日(水) 上諏訪小学校 〔参加者13名〕</p>	<p>「信州を味わおう！おやきづくり」 おやきづくり</p> 	<p>具材を持ち寄りにしたので、それぞれ面白い発想の具材が集まり、新しいおやきを楽しむことができた。 《参加者の声》 ・いなごやわかさぎの佃煮など、諏訪地域の特産品を入れてみたが、おやきとしても美味しく食べられて面白かった。</p>
<p>諏訪学校体育研究会 8月2日(水) 神明小学校 8月4日(金) ボート研修 〔参加者15名〕</p>	<p>「体育を創ろう会」 ・教育課程研究協議会に向けての授業構想 ・授業の教材研究 ・ボートの体験 ・講師：下諏訪ボート協会の方々</p> 	<p>「体育を創ろう会」では授業の内容を大人数で考え、多くの考え方を知り、普段の授業に生かせそうなアドバイスや教材に触れることができた。 《参加者の声》 ・初めてボートに乗りました。はじめは少し怖かったですが、慣れてくると疾走感が楽しく感じました。来年度はどんな体験型の研修か分かりませんが、来年度も楽しみにしています。</p>
<p>諏訪社会科教育研究会 8月3日(木) 集合・解散場所：原小学校 〔参加者12名〕</p>	<p>富士見町・原村内の坂本養川せぎの 実地研修 ・講師：関 雅一先生 (坂本養川せぎ研究会解説員)</p> 	<p>講師の関先生の解説付きで山の中を流れる「せぎ」を実際に見ながら、水を村々に行きわたらせるための工夫を知ることができ、今後の授業づくりに役立てることができそうです。 《参加者の声》 ・実際に「せぎ」の様子を地図と照らし合わせながら見ることができ、いろいろなことが頭の中でも結びつきました。江戸時代の人々、「せぎ」を今でも維持している人々のご苦労を感じさせていただきました。</p>
<p>諏訪理科研究会 8月3日(木) 7:00～14:00 車山～ゼブラ山～車山湿原 〔参加者12名〕</p> 	<p>諏訪自然学(フィールドワーク) ・第10回諏訪自然学 諏訪理科研究会自然研究部の先生方と一緒に散策しながら、霧ヶ峰の自然の特徴に触れる。 ・霧ヶ峰車山周辺の植物・動物・気象について ・霧ヶ峰車山周辺の地質及び地形について ・講師：白鳥保美先生(元中洲小学校長) 諏訪理科研究会の先生方</p>	<p>諏訪自然学も岡谷の横河川から始めて10回続けてきた。夏期休業中の諏訪理研自然研究部の中心行事としてしっかり定着し、学びの場となっていてよい。 《参加者の声》 ・大変暑い夏でしたが、高原の風は涼しく、高山植物や地質などのお話も聞けて楽しかったです。天気にも恵まれてよい登山(ハイキング)になりました。</p>
<p>道元と教育実践を語る会 8月3日(木) 瑞雲寺(富士見町) 〔参加者16名〕</p>	<p>読み合わせ・実践交流会・講演会 ・「正法眼蔵随聞記 四の十」読み合わせ ・実践発表「総合的な学習の時間実践報告『ひまわりの実践を振りかえって』」 富士見小学校 小林 直美 先生 ・講演会「響き～永明小学校公開誕生～」</p>	<p>今回も、参加者が実践や先輩のお話、坐禅等を通して、自己を深く見つめ学ぶことのできる研修会を開催することができた。 《参加者の声》 ・「切に思う心深ければ」という言葉について、読み合わせ、実践報告を通して、感じさせて</p>

	<p>元富士見町教育長 小松 睦示 先生 ・法話と坐禅 曹洞宗神澤山瑞 雲寺住職 根田 泰聖 様</p>	<p>いただきました。今の自分に子どもたちのために「切に思う心」がどのくらい深いのか、自戒し、2学期に生かしていきたいと思います。座禅の意味を知り、「自分の本分とは何か」を考える静寂の時間を自分でも作り、生活していこうと思いました。</p>
<p>家庭・技術家庭科 委員会 8月3日(木) 玉川小学校 〔参加者15名〕</p> 	<p>夏期研修会 ・信州の郷土食や食材についてのお話 ・信州の郷土料理や地元食材を使って調理実習 ・つくった信州ランチを実食 【メニュー】 のたもち、夕顔汁、寒天のハム巻き、かけひき大根 ・講師：食生活改善推進協議会のみなさん、じゃがいもの会のみなさん</p>	<p>《参加者の声》 ・貴重な経験となりました。切り方など調理のポイントや多様に味わえる寒天の魅力、健康的な効果など生徒に教えていきたいです。</p> 
<p>幼年教育委員会 8月3日(木) 諏訪教育会館 〔参加者23名〕</p> 	<p>講演会 ・柳澤先生による講演会「脳科学からの幼児・児童期の運動支援方法」 ・講師：松本短期大学 柳澤秋孝先生</p>	<p>「コロナ禍における子どもの運動機能の低下」に関わって、柳澤運動プログラム発案者柳澤秋孝先生に講師をお願いした。先生の研究結果から、幼児期、特に3-5歳までに意図的に運動遊びを行っていくことの重要性を教えて頂いた。 《参加者の声》 ・コロナ禍での運動が制限されての経験不足、Youtubeばかり見ている子どもが増え、様々な面で気になる子どもが増えている。運動遊びを取り入れながら、今日学んだことを自園の職員間で共有して、みんなで目の前の子どもたちの成長について考えていきたい。</p>
<p>諏訪算数数学教育 研究会 8月3日(木) 4日(金) 横谷温泉旅館 〔参加者31名〕</p> 	<p>夏期研修会 ・教育実践の情報交換 ・長野県算数数学教育研究大会(諏訪大会)の公開授業の模擬授業・指導案検討・教材研究 ・教育課程研究協議会の模擬授業 ・算数数学委員会実証授業の模擬授業 ・上越教育大学准教授、河野麻沙美先生による講演会 演題「算数・数学におけるICTの活用可能性」</p>	<p>・県大会、教育課程、算数数学委員会の模擬授業では、若い先生方を中心に熱のある発表が行われた。明日からの実践に生かせるヒントをいただくことができた。研究会前に研究内容や授業者の意図を知り、協議することで研究の深まりが期待される。 《参加者の声》 ・模擬授業という形で実践をしていただき、生徒として受けてみることで見えることがたくさんあったと感じました。まとめのときにどのような子どもの姿を期待するのか。そのために、教師はどのような授業をするのが大事だということを、学ばせていただきました。</p>
<p>諏訪史談会 8月4日(金) 岡谷・下諏訪・諏訪市内発 東京・八王子方面 〔参加者 24名〕</p> 	<p>郡外史跡踏査 桑都・八王子歴史探訪 「霊気満山 高尾山 ~人々の祈りが紡ぐ桑都物語~」のタイトルで、東京都唯一の日本遺産ストーリーに指定された、東京都八王子市方面への史跡踏査。</p>	<p>一般参加者の方が多く、とてもよかった。駐車場が教育会館に集中しないよう、乗車場所を分ける方を今後も継続していきたい。 《参加者の声》 ・事前の資料などが配付され、スムーズに解説を聞くことができた。実際にその場で新たな知識を学ぶことができた。八王子と諏訪との関わりが深いことを知った。</p>

<p>環境教育委員会 8月4日(金) 城南小学校 〔参加者 8名〕</p>	<p>火おこし体験プログラム ・火おこし体験プログラム</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・自然エネルギーを利用した火おこしの実際 ・宿泊学習の朝食に生かせる簡単調理。 <p>講師：小林伸治先生 (八ヶ岳森と高原の自然学校 やっほー代表)</p>	<p>火おこし体験プログラムは、昨年度は6月の実施だったため、宿泊学習前で参加者が多かったが、今回は8月の実施だったので、参加者が少なかった。会員の皆さんのニーズに応えていきたい。</p> <p>《参加者の声》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほんの小さな火花から、炎になるまで実際にやってみると、改めて自然のエネルギーのすごさが分かりました。
<p>諏訪国語教育学会 8月7日(月) 軽井沢町 〔参加者 16名〕</p>	<p>～特色ある学校「軽井沢風越学園」に出かけ 授業の名人「甲斐利恵子」先生から学ぼう～</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・甲斐利恵子先生のご講演 ・風越学園の見学 	<p>《参加者の声》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風越学園の様子を見学して、私が一番感じたことは、「子どもをど真ん中に置いている」ということでした。活動一つ一つが、実社会で行われているやり方や手順を踏んでおり、子どもたちが社会人として風越学園を運営している一人であるというのが大きな特徴だと感じました。
<p>音楽委員会 8月27日(日) 下諏訪北小学校 〔参加者19名〕</p>	<p>デジタル教科書研修会 ・触ってみよう！使ってみよう！～デジタル教科書～ ・広めよう！～ICTを活用した実践紹介～</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・講師：教育芸術社 高橋佳大 様 	<p>実際に、まなビューアを体験できたことで、子どもたちが見方や考え方を広げながら仲間と共有しながら学習に取り組む可能性を知ることができた。</p> <p>《参加者の声》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度からデジタル教科書が導入される。中学では音楽づくりをICT活用で行っていたので、小学校では基礎をきちんと身につけさせる必要があると感じた。